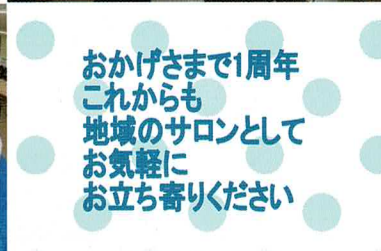


めざそう！人口5000人をキープ！
10年後も
いちまんひとみ
10000の瞳

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部 令和元年 8月 第22号



北御牧の人の動き

総人口 4,754人 (-16)

男 2,369人 (-6) 女 2,385人 (-10)

転入 7人 転出 18人

出生 2人 死亡 12人

7月31日現在 ()内は5月末対比

目次 Index

P1・2 サロンオープン1周年まつり

P3 ビジョンのページ

まちづくり懇談会、リレー放談

P4 天空の芸術祭



今回も笑顔あふれる

ステージ

- 昔あそび (昔あそびの会)
- フラダンス (マナ・フラ)
- みんなで歌おう
(春原さん、アコーディオン)
- 豪華景品付きサロンクイズ
(サロン運営委員)



ひとときになりました



ご来場ありがとうございました



ご協力いただいた出店者のみなさん

- ◇ 味の研究会 (おやき、おこわ他)
- ◇ 岩井屋 (コーヒー、コーヒー豆)
- ◇ 奥本農園 (ジャム)
- ◇ ケアポートみまき (手作り雑貨)
- ◇ テールマウンテン (ハーブ、花の苗)
- ◇ てぐすな (手作りポーチ他)
- ◇ とや原ファーム (信州黄金シャモ)
- ◇ トロン温泉ほたるの湯
- ◇ ビーハイブ (ハチミツ)
- ◇ まる屋 (パン、お弁当)
- ◇ 御牧原てらす (フェイス・インテグ)
- ◇ わざわざ (菓子、衣類、雑貨)
- ◇ 地元生産者 (野菜、果物)

井出容子、掛川久善、直井孝信
中村一夫、柳沢大作



スタッフ全員集合

Facebookページものぞいてみてください

<https://www.facebook.com/北御牧市民交流サロン>

「まちづくり懇談会」が開催されました

7月4日北御牧地区まちづくり懇談会が北御牧支所で開催され、区長会や郷づくり協議会委員、北御牧地区市議会議員、地域の皆さんなど、大勢の参加がありました。

第一部では市の「総合計画・後期基本計画」や重点事業など市政運営の説明と、北御牧地区から出されていた今後の農地の維持や集約化対策、山林の維持管理・間伐材有効利用、災害時の避難場所や、区民への通報手段、通学路の危険箇所改良や歩道設置などの意見・要望に対するの回答があり、出席者から早急な対応を求める声や地域の現状を心配する声がありました。

第二部は郷づくり協議会と区長会により進められ、テーマを「少子高齢化と担い手養成対策について」として市内5地域の人口減少の比較や、北御牧各区の年代別の人口比較、児童減少により学校運営やクラブ活動、PTA活動に制約が出ているなど、協議会の作成資料を元に懇談が

行われました。

具体的な地域全体で実行できる取り組みの一例案として、北御牧の特徴である景観・気候・人の良さを内外に情報発信し、人が地域に戻る、新たに移住してもらう、その一歩として「景観と花の郷づくり」を実施する。また、高齢化への対応として地域づくりの担い手やリーダーの育成、災害時支え合い台帳の整備、集落単位の互助会組織の設立支援等の提案が協議会からありました。

参加者からは、「少人数の区でも出来ることはある」、「消防団も団員減少で再編となったが、少ない分まとまっている」など発言がありました。

北御牧の将来について自ら出来ること地域で取り組むべきことを考え、一歩でも行動出来ればと思いました。

シリーズ 地域ビジョンに思う⑤

リレー放談

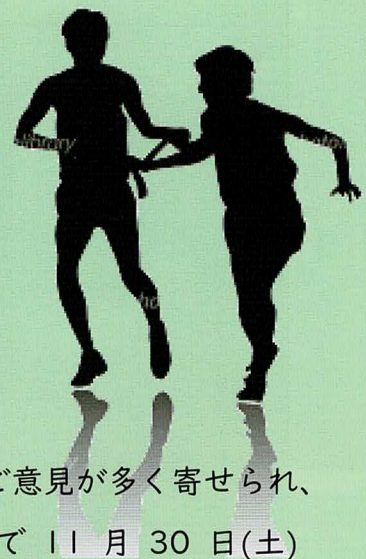
「伝統のタスキをつなぐためにー北御牧地区一周駅伝大会」

少子高齢化の波が次第に大きくなり、私たち北御牧地区でも大きな問題として重くのしかかっています。昨年度まで中学校での恒例行事として開催されてきた北御牧地区一周駅伝大会は、クラス数の減少や安全面などの問題から学校行事として持続させることが困難となりました。

しかし、体力・精神力の向上、クラスの団結力の醸成、郷土の一員としての自覚の芽生えに加えて、北御牧地域の方々が、中学生の姿から元気をもらい、成長を実感し喜びを共有できる、とても意義深い行事でした。

そのため、これまで54回行われてきた伝統行事を継承してほしいというご意見が多く寄せられ、地元の有識者による協議会を繰り返し、実行委員会主催・中学校 PTA 共催で11月30日(土)に向けて準備を進めています。

北御牧地区一周駅伝大会は、中学校生徒・保護者は任意参加の形態になりますが、これまでの形態にとらわれることなく、より多くの生徒や保護者さらに地元の方々が参加できる方法を模索しております。地域ビジョン推進の視点からも、この駅伝が『地元大切な行事』と考えておりますので、運営のご協力や沿道でのご声援をお願いする場面もあるかと思いますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



ビジョン推進部会 滝澤 栄一(下八)

天空の芸術祭 2019

天空の芸術祭 2019 の開催概要がほぼ決まってきました。大きな変更として本年度から有料になります。まずは試験的に 600 円を観覧料として頂き、事業継続の為の足がかりにするため、アートを通じて誰もが楽しめるイベントにしたいと考えています。芸大アニメーション研究科によるクレイアニメのワークショップや、天空パスポートによるスタンプラリー、これまでも好評だった作品解説ツアーも中身を充実するなど、さまざまな催しを企画中。北御牧の皆様には、これまで以上にご声援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

東京藝大と東御市と地域による域学連携事業

天空の芸術祭 2019

10月5日(土)~6日(日)プレオープン 12日(土)~27日(日)本オープン

月休み(祝日の場合は翌日休み) 16日間開催 会場時間 // 10:00 16:00

出品作家 // 東京藝大大学院、フィンランドからのレジデンス作家、上海芸大大学院含む、約40組

会場候補 //

- ・芸術むら公園エリア(芸術むら公園、梅野記念絵画館・ふれあい館、天空ミュージアムほか)
- ・御牧原エリア(天空ホクブギャラリーほか)
- ・北御牧庁舎エリア(北御牧庁舎、商工会ほか)
- ・久保通りエリア(旧渡邊医院ほか)

主催 // 天空の芸術祭 2019 実行委員会

共催 // 東京藝術大学、東御市、御牧ふれあいの郷づくり協議会

協力 // 公立大学法人長野大学、JA 佐久浅間ほか

交付金 // 2019 年度地方創成推進交付金事業

WEB// <https://tenkuartfes.com/>

お問合せ //

天空の芸術祭実行委員会

右のQRコードより

メールを送信ください。

tenkuartfes@gmail.com

※北御牧庁舎、サロンは担当者不在の為、お電話はお控え下さい。



ローラ・タヴァナイネンさん
がやってくる!!!

今年のフィンランドからのレジデンス作家は Laura Tahvanainen さん。たぶんローラ・タヴァナイネンと読むかもです。フィンランド東部のヨエンスー出身でお兄さんが1年間日本に住んでいたとか。ローラさんは木版画の技法を使っているので、きっと日本の浮世絵などに興味津々のハズ。そんなローラさんは8月末に来日、9月1日頃から北御牧で活動を始める予定です。



みまきアートクラブ ワークショップ情報

今年もみまきアートクラブはさまざまなワークショップを開催します。陶芸ワークショップ、製本ワークショップ、ちゅうきんワークショップ、染織ワークショップ、クロッキー&デッサン基礎編、映画の上映会など企画中!!! 詳細などは決まり次第、WEBサイト、フェイスブックなどで発信していきます。

お問合せ

みまきアートクラブ
こちらのQRコードより
メールを送信ください。



学校給食に野菜を!!!

出荷していただく方を引き続き募集中です! 前号でもお知らせしたところですが、まだまだ生産者が足りません。未来を担う北御牧の子供達のために、あなたのお力がどうしても必要です。少量でも大歓迎です。お申し込み、お問い合わせは、御牧ふれあいの郷づくり協議会 担当青木支援員。北御牧庁舎内、電話 67-1010